

KOBE 工学サミット – 「医工学連携がひらく新しい医療技術」 –

医療デバイス創製医工学研究センターでは、医療用デバイスおよびシステムの創製に向けた工学基礎研究および臨床適用に堪えるデバイスを具現化するための応用研究を推進しています。今回のサミットでは当センターにおける最新の研究トピックスをご紹介しますとともに、連携パートナーである本学医学研究科を代表して藤澤正人医学研究科長から国産手術用ロボットの開発についてご講演いただきます。

◎ 講演会

司会：大学院工学研究科機械工学専攻・教授 向井 敏司

はじめに (14:10～14:25) 大学院工学研究科機械工学専攻・教授 向井 敏司

– 医工学連携がひらく新しい医療技術 – 「医療デバイス創製医工学研究センター概要紹介」

講演 1 (14:25～14:55) 大学院工学研究科応用化学専攻・教授 竹内 俊文

「インタクトエクソソームの非侵襲センシングによるがんの簡便・迅速・高感度検知」

講演 2 (14:55～15:25) 大学院工学研究科機械工学専攻・教授 白瀬 敬一

「医療用インプラントのカスタムメイド加工技術」

講演 3 (15:25～15:55) 大学院工学研究科機械工学専攻・教授 横小路 泰義

「ロボティクスと VR, 医療への応用と展望」

休憩 15:55～16:10

特別講演 (16:10～17:00) 大学院医学研究科外科系講座腎泌尿器科学分野教授・研究科長 藤澤 正人

「次世代手術支援ロボット開発の目指すもの」